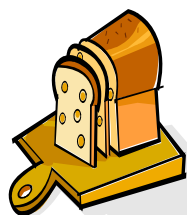


倉田コミュニティハウス通信

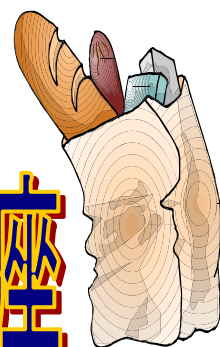
2010年1月号 NO. 38

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

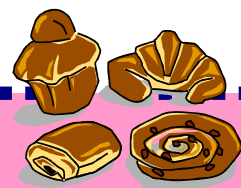


男の手料理第6弾

プロの厨房でプロに習うパン講座



泉区にある共働舎の工房でプロの職人さんに手ごねからパン作りを習います。材料の小麦も自分達で育てているこだわりパン！ご自分で焼いたパンとスープで昼食をとり、お土産もありますよ。



日時：2010年2月20日（土）9時～14時

場所：社会福祉法人開く会 障害福祉サービス事業所 共働舎

パン工房（泉区中田西1-11-2）市営地下鉄立場駅から徒歩8分。

参加費：1500円（パン材料、昼食代含む）

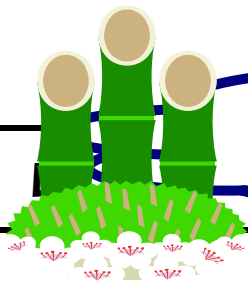
定員：成人男性10名 集合：当日午前9時 現地集合

持ち物：エフロン・バンダナなどの髪を覆えるもの

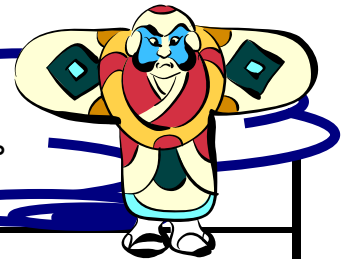
申し込み：2010年1月21日午前9時から電話・来館にて受け付けます。

* 申し込み時、参加費を承ります。電話の場合は申し込み後、当日までに来館の上、承ります。その際、現地の地図をお渡しします。

キャンセルの場合、参加費は返金できませんので、ご了承ください。



1月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。



2009年12月28日(月)

から

2010年1月3日(日)

12月28日は全館点検のため休館となります。

12月29日～1月3日は年末年始休館となります。

新年は1月4日(月)よりの開館となります。

2010年もどうぞよろしく申し上げます。

4(月)	抽選会	午前10時から2010年2月分の抽選会です。	
5(火)	読み聞かせプラス フリースペース	1歳～未就園児向けの 子育て支援です。	午前11時から絵本の読み聞かせや 紙芝居、体操などがあります。その後 午後1時までフリースペースになります。
9・16 23・30 (土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費100円です。
9(土)	気軽にコンサート 迫力の金管五重奏		午前11時開演・入場無料 ご自由にいらしてください。
9・23 (土)	倉田いけばなこども教室		ご希望の方はお問い合わせ 合わせ下さい。
19(火)	0歳児クラブ	0歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
19(火)	まちの保健室フリースペース	0歳から高齢者 どなたもどうぞ	からだスキャンをご用意しました。 生活習慣病などの相談ができます。 午後2時から4時まで
20(水) 22(金)	ハートぽっぽクラブ	1才～2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	親子で歌ったり、遊んだり、楽しいこと いっぱいです。活動費100円です。 午前10時から午後1時まで

3周年文化祭ありがとうございました。

平成 21 年 10 月 25 日倉田コミュニティハウス 3 周年を記念し、文化祭を行いました。

平成 18 年 10 月 15 日にオープンしてから、早 3 年。地域の皆様のお陰を持ちまして、賑わいのあるコミュニティハウスとなりました。今回の文化祭は館で活動している様々な方々の作品展示・発表の場として、初めての試みです。展示部門は書道・こども生花講座・陶芸・大人の生花・絵手紙の 5 団体。22 年度に予定している水彩画・トールペイントの講師の方の作品、特別展示として「倉田歴史教室」も入り、賑やかな展示となりました。また、音楽室の発表会も行われ、日ごろから切磋琢磨されている 10 団体の方が発表されました。女性ジャズバンド・フルートデュオ・オペラのアリア歌唱・尺八デュオ・民謡・男性ポップスバンド・ピオラアンサンブル・スタッフハンドベルも加わり、圧巻はギターサークルで、講座終了後サークルとして活動を継続している方々が 18 名という大所帯で演奏されました。司会進行も全て利用されている方にお任せしました。小さなコミュニティハウスに相応しい暖かい、家庭的な文化祭になったと感じました。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。



スタッフのひとり言

街道を歩く vol 7

前回の街道歩きで、東海道最大の難所と言われた箱根峠を無事通過。ほっとしたせいか、どうも三島宿からの歩きには今一つ気合が入らない。それでも脚だけは前へ前へと勝手に進む。

華やいた雰囲気は漂う三島宿を出ると、頼朝と義経が初めて会った対面石に出会う。座り心地のよさそうな石が、それらしく上段、下段に配置されていた。

次の沼津は宿場の面影をほとんど残していない。ござっぱりとした街中をさっさと通過し、次の原宿へ。この辺りに来ると、富士が街道沿いの家々の間に見え隠れする。富士に気を取られて歩いていたら、「駿河には過ぎたるものがふたつあり 富士のお山と 原の白隠」と詠まれている白隠禅師ゆかりの寺・松蔭寺に立ち寄るのを忘れてしまった。

原宿を出て西に向かう途中が山部赤人の和歌で有名な田子の浦。なるほどこの辺りでは富士の雄姿が眼の前に広がる。が、今日は中腹を遮る雲が恨めしい。

吉原宿は、当初、JR 吉原駅付近の元吉原にあった。が、宿場は津波の被害を避けて山側へと移動。落ち着いたのが岳南鉄道の吉原本町駅付近。その吉原宿の東木戸跡に着いたのが夕暮れ時。ふと振り返ると、富士の頂が夕日に照らされて茜色に輝いている。北斎の赤富士は朝日に輝く富士を描いたものらしいが、夕日に輝く富士も素晴らしい。今日の歩きはこの赤富士で満足し、JR 富士駅から帰宅。(今日の旅の道連れは、お富士さんでした。)

《N. I》